

地震発生予測の研究最前線

～地震の仕組みから防災まで～

日本や世界で起きた過去の地震を解析し教訓とすることで、将来の南海トラフ地震や活断層型地震の防災へ活かすことが必要です。本講座では、地震の起こる仕組みの話から始め、国内外の大地震を例に挙げながら、地震発生予測の研究最前線をご紹介します。そして、このような研究の結果をもとに、今後どのような取り組みを実施することが、静岡県、特に清水地区の地震防災に有効かをご提案します。



講師

静岡県立大学
グローバル地域センター
地震予知部門

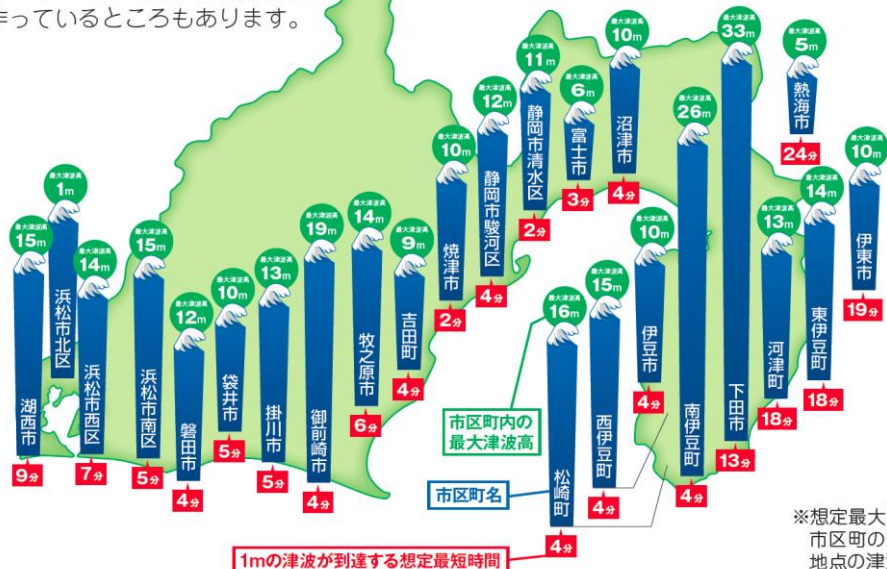
楠城 一嘉 先生
なんじょう かずよし

10月28日(土) 13:30～15:30

静岡県で予想される津波

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する津波 (レベル2)による想定最大津波高 平成25年6月27日発表

津波危険予想地域や山崖崩れの危険箇所等については市町などに情報がありません。市町では、危険箇所を地図にし「ハザードマップ」を作っているところもあります。



※想定最大津波高は、市区町の最大となる地点の津波高です。

静岡県「地震防災ガイドブック」より

【会場】清水生涯学習交流館

3F講義室

【対象】どなたでも 80人

【会費】無料

【申込】9月20日(火)、9:00～

電話か窓口までどうぞ(申込順)

☎352-7755

受付時間 9:00～21:30